



上南だより

令和6年 9月27日 第6号

江戸川区立 上一色南小学校

「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」

運動会です！

校長 平田 鐘明

お彼岸を過ぎたあたりからでしょうか、これまでの暑さが嘘のように涼しくなりました。特に朝は肌寒さを感じるほどです。急激な気温の変化に体調を崩さないよう十分に注意しましょう。

さて、いよいよ明日が運動会となりました。ここまで子どもたちは本当によく頑張ってきました。子どもたちは当然勝ちたいでしょう。もちろん結果も大切ですが、小学校においては、そこに至るまでの過程は結果以上に大切だと私は思います。努力をしても残念ながら結果に結び付かないこともあります。ですが、努力をしたという事実は決して色褪せることはありませんし、必ず力となって自信となって次につながります。

明日はぜひ、子どもたちの一生懸命に、最後まであきらめずに頑張る姿に温かい御声援と大きな拍手をいただければと思います。御来校をお待ちしています。どうぞよろしく願いいたします。

成長

「失敗」と書いて「せいちょう（成長）」と読む

これは、プロ野球界で選手、そして監督として活躍し「名将」と言われた野村克也さんが残した言葉です。

『人は、失敗してはじめて自分の間違いやいたらなさに気付く。そして「どうして失敗したのか」「何がいけなかったのか」と反省し、「どうすればうまくいくのか」「何をすればいいのか」を真剣に考える。この過程で人は成長するのである。』（野村克也さん名言集より）

プロ野球の世界のことを話しているのですが、これはスポーツだけではなく、すべてにおいて言えることだと思います。実際に同じようなことわざもあります。

新しいことにチャレンジするのは、誰でも、そしていくつになっても勇気がいることです。そして、どんな人でも最初からまったく失敗もせずうまくいくことなんて、まずありません。あの太谷翔平選手だって何度も何度も失敗しているはずで、失敗することは恥ずかしいことではありません。

大切なのは、心のもち方だと思います。失敗は誰でもいやなものです。では、実際に失敗したときにどうするのか、誰かのせいにして終わってしまうのか、言い訳を考えるのか、それとも、野村克也さんが言っているように、勇気を出して失敗と向き合い、どうしたらうまくいくのかを考えるのか。私は、ぜひあきらめずに、なぜ失敗したのかを考えチャレンジしてほしいと思っています。

新しい環境に飛び込んだり、新しい挑戦をしたりすることは誰でも怖いはずで、でも勇気をもって踏み出したその一歩が、自分自身を成長させることにつながるはずで、子どもたちには、失敗を恐れず、ぜひいろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。そして、それをサポートしていくのが私たち大人の大事な役割だと思います。

◆◆ 10月の行事予定 ◆◆

日	曜日	主な行事
1	火	都民の日
2	水	全校朝会 午前授業
3	木	運動会予備日 安全指導日 クロッキータイム かみなんタイム 委員会(運動会の場合、11日に変更)
4	金	教育実習(終)
5	土	
6	日	
7	月	全校朝会 あいさつ運動(始) 体育大会放課後練習(始)
8	火	かみなんタイム
9	水	児童集会 スーパー見学(3年)
10	木	クロッキータイム 避難訓練 クラブ活動
11	金	あいさつ運動(終)
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	全校朝会 私費会計振替日 かみなんタイム 体育大会放課後練習(終)
16	水	体育大会(6年) ※6年生以外午前授業
17	木	音楽集会 委員会
18	金	租税教室(6年)
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会 前期クロッキー展(始) 色覚検査(始)
22	火	読み聞かせ
23	水	
24	木	かみなんタイム
25	金	小松菜農家見学(3年) 前期クロッキー展(終) 色覚検査(終)
26	土	
27	日	
28	月	スキルアップ特別教室(3年)
29	火	かみなんタイム
30	水	なかよしタイム ※15分前倒し時程
31	木	薬物乱用防止教室(6年)

小中交流会

6学年担任

9月6日(金)の午後、進路指導の一環として、6年生全員が上一色中学校を訪問しました。校長先生や教務主任の先生からお話を伺った後に、社会科、英語科、体育科の教室に別れ、中学校の先生による授業を体験しました。クイズや対話などのコミュニケーションを重視したテンポよい授業を受けて、あっという間に時間が過ぎていったようです。その後は、前半と後半に分かれて、全員が2つの部活動を体験しました。中学校の先輩から活動の様子を優しく教えてもらったり、実際に力強いプレーを見せてもらったりしたことで、中学校で部活動に入るのがより一層楽しみになった様子でした。

6年生は、いよいよ中学校選択の時期に入ります。実際に中学生生活を体験し、見通しをもつことで、自分に合った進路を見つけてほしいと願っています。

読書の秋

図書部

読書の良いところは4つあります。一つ目は、想像力が養われることです。豊かなイメージをもてるようになったり、夢をもつ土台づくりになったりします。二つ目は、親子の親密度が高まることです。読み聞かせでは親子の感情を共有することができるので親密度が高まるといわれています。三つ目は、文章を理解する力が身に付くことです。本を繰り返し読むことでたくさんの言葉を知り、語彙力や読解力を身に付けることができます。四つ目は、集中力が養われることです。読み聞かせや読書の習慣化で文字への抵抗がなくなり、集中する時間が増えるからです。

本を読むことにきまりはありません。漫画本や絵本など子供たちが親しみやすい本でも、本を読むことが大切だと私は思います。本を手にとり、物語の世界を楽しんでみませんか。

